

NITTEN

日展

117th since 1907~2024

神戸に集う日本の美 第11回 日展神戸展

日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書
2025年2/15土→3/23日

神戸ゆかりの美術館 神戸ファッション美術館
KOBE ARTISTS MUSEUM KOBE FASHION MUSEUM



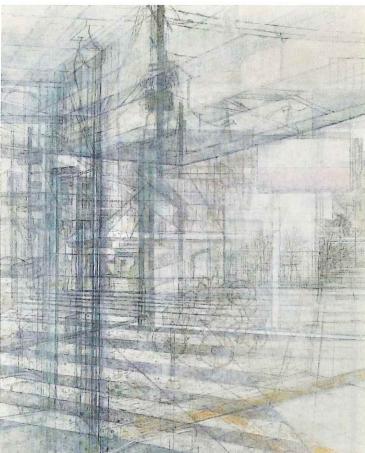
書「花の姿」田中徹夫
(会員・内閣総理大臣賞)



書
「高青邱詩一首」
平樂大龜
(特選)



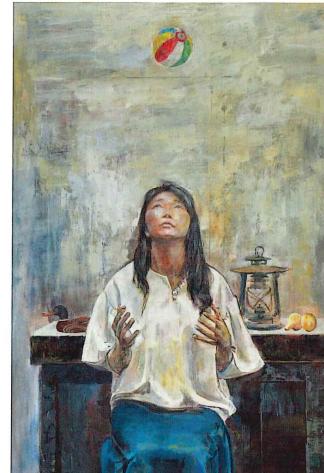
日本画「猩猩」熱田 守 (特選)



日本画「街」笠川武史 (特選)



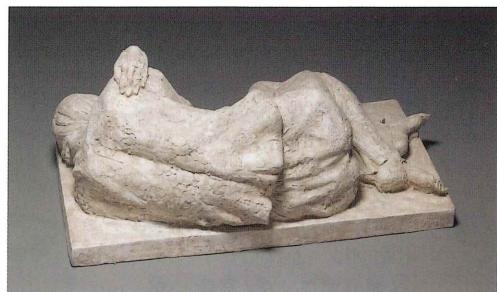
工芸美術「core」喜多浩介
(準会員)



洋画「MEMORY」渡邊 明 (会員)



日本画「結びつき」前川和之 (特選)



彫刻「caldera」前芝武史 (会員)

開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日／月曜日(ただし2月24日は開館、2月25日休館)

入館料／一般 1,200円、大学生・65歳以上 600円、高校生以下無料

- 大学生の方は、学生証をご提示ください ●65歳以上の方は、年齢が証明できるものをご提示ください
- 障がい者手帳またはスマートフォンアプリ「ミライロID」などのご提示で無料

主催／神戸市、公益社団法人 日展、神戸新聞社 後援／サンテレビジョン、ラジオ関西、神戸市民文化振興財団

特別協賛

私たちが日展神戸展を応援しています！

KOBE FASHION MART

株式会社こうべ未来都市機構
ひと・まち・むすぶ・みらい

六甲ライナー
ROKKOLINER

第11回 神戸展

日本最大級の総合美術展、日本美術展覧会「日展」が、神戸の六甲アイランドにある「神戸ゆかりの美術館」「神戸ファッション美術館」2館で開催されます。9回、10回展に引き続き、いよいよ3度目となる神戸での開催です。ご存じのとおり「日展」は、明治40年（1907）に開催された第1回文展（文部省美術展覧会）にはじまり、帝展（帝国美術院美術展覧会）を経て、戦後、「日展」となった長い伝統を誇る美術展です。日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の5科からなり、例年秋に開催される東京展を皮切りに、国内主要都市で、その地の特色を生かした巡回展が開催されます。その年の特選を含む全国を巡回する基本作品に加えて、兵庫、大阪、奈良、和歌山一地元作家の入選作品、総数約530点を一堂に展覧します。

たなかてつお
本年度、地元作家では書の田中徹夫会員が内閣総理大臣賞の栄誉に輝き、さらに日本画で3名、書で1名の特選受賞者が出了ました。「日展」は例年見ることで、作家たちの時代との向き合い方が見えてきます。巨匠たちの優品から地元の入選作まで、見る者を圧倒する大作の熱量を浴びながら、自分の「推し」を1点見つけてください。

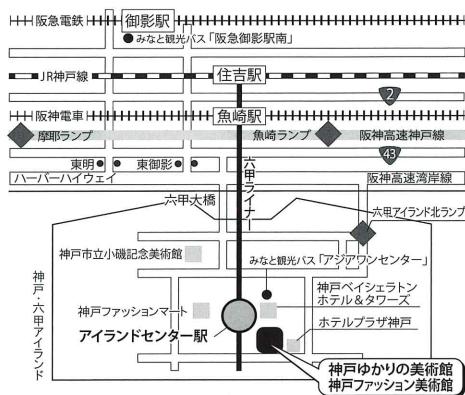
日展出品作家による作品解説日時（各部門別）

2月18日（火）《洋画》	小瀬 一紀 氏	（理事）
2月19日（水）《書》	田中 徹夫 氏	（会員）
2月20日（木）《彫刻》	九後 稔 氏	（会員）
	安芸 和美 氏	
2月21日（金）《工芸美術》	喜多 浩介 氏	（準会員）
3月4日（火）《日本画》	久米 伴香 氏	（会員）
3月5日（水）《書》	堂本 雅人 氏	（会員）
3月6日（木）《洋画》	渡邊 明 氏	（会員）
3月7日（金）《書》	伊藤 一翔 氏	（会員）

定員：各50名（先着順） 場所：4階第1セミナー室 ※参加費無料。ただし、当日の観覧券が必要です。

◆交通案内：

電車／JR「住吉駅」、阪神「魚崎駅」
乗り換え、六甲ライナー「アイランドセンター駅」下車南東すぐ
バス／阪急「御影駅」南側から、みなと観光バス131系統で
「アジアワンセンター」下車南へ徒歩3分
車／阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプより約3分
阪神高速神戸線「魚崎」「摩耶」ランプより約10分
※車でお越しの方は近隣の有料駐車場をご利用ください。（提携駐車場はございません）



〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2丁目9-1



第10回日展神戸展会場風景

お問い合わせ先

神戸市お問い合わせセンター
(年中無休、8:00~21:00)
電話番号 0570-083-330
または 078-333-3330
FAX 078-333-3314



日展神戸展の開催にあわせて「六甲アイランド・アートフェア」を開催

日展神戸展の会期中、アートパフォーマンスや書道作品展、ワークショップ、さらには
フードやスイーツのマルシェなど、六甲アイランド内で様々なイベントを開催します。

アートフェアHP



詳しくはこちら▶▶▶